

会 議 録

会議名	令和元年度第3回東浦町地域福祉推進委員会	
開催日時	令和2年2月13日（木） 午前10時から午前10時40分まで	
開催場所	勤労福祉会館 2階 会議室1	
出席者	アドバイザー	原田正樹氏
	委員	田島由美子氏、市川實氏、日高啓治氏、山守正記氏、吉田禎宏氏、村山誠治氏、山崎紀恵子氏、金森大席氏、友永涼子氏、入木田郁子氏、宮池始氏、榊原和浩氏、水野智久氏、4名欠席
	事務局	鈴木ふくし課長、青木ふくし課長補佐兼社会高齢係長、村上ふくし課地域包括ケア推進係長、高橋ふくし課地域包括ケア推進係主事、伴障がい支援課障がい支援係長、小田児童課児童福祉係長、伊藤健康課成人保健係長、福澤東浦町社会福祉協議会事務局長、高見東浦町社会福祉協議会事務局長補佐、山木東浦町社会福祉協議会総務係長、鈴木東浦町社会福祉協議会地域福祉係長、堀東浦町社会福祉協議会介護事業係長、越智東浦町社会福祉協議会包括係長
議題	1. 第2次計画体系について 2. 今後の作業部会の流れについて	
傍聴者の数	2名	
審議内容	<p>◆事務局 次第に従い、会議を進める。 出欠確認。4名欠席だが、定員数に達しているため、会議を開催。 配布資料の確認。 以降は委員長が会議を取り回す。</p> <p>2. 議題 ◇委員長 次第に従い、作業部会長へ第2次計画体系についての説明を促す。 (1) 第2次計画体系について</p>	

◇作業部会長

事務局提案の体系案を基に、ささえあい部会、役割・活躍部会、ほっとけん部会で検討した体系案、さらにその体系案を基に、3部会長が検討した最終的な体系の決定までの流れを説明する。

事務局が提案した基本体系は以下のとおり。

基本理念『共に生き、つながり、互いを認め、

だれでも主役になれるまち』

基本目標①『「気になる」「ほっとけん」の心でつながる』

②『「あんき」に暮らせる「ささえあい」を育む』

③『一人ひとりが地域の力、持てる力を実感する』

基本目標①に対する基本施策

「ふくしの理解促進」

「包括的支援体制の充実」

基本目標②に対する基本施策

「多様な交流の機会づくり」

「全世代を対象とした生活支援の充実」

「日ごろの見守りのしくみづくり」

基本目標③に対する基本施策

「地域やふくしに関心をもつ機会づくり」

「活躍の場づくり」

「地域づくりにつながる活動への支援」

ささえあい部会での検討内容

表現をなるべくわかりやすく、端的にしようという方針で話し合いを進めた。

基本理念『「あんき」に暮らせるひがしうら

～だれでも主役になれるまち』

基本目標②の「あんき」には安心して、元気にといった意味がある。すべての基本目標に係ることになるので、基本理念に掲げた。さらに、事務局提案の基本理念は、説明の部分が多く、「共に生き、つながり、互いを認め」は基本目標や基本施策で説明ができるので、基本理念は端的な表現とした。

基本目標①『「ほっとけん」の心でつながる』

気になる、ほっとけんは同じ意味となるので、気になるを削除

した。

基本目標②「ささえあいを育む」

「あんき」に暮らせるを基本理念に掲げた。

基本目標③「一人ひとりが地域の力、持てる力を実感する」

わかりやすい表現としたいが、役割・活躍部会に託した。

基本目標①に対する基本施策

「日頃の見守りのしくみづくり」

「包括的支援体制の充実」

「地域福祉視点での防災・減災のしくみづくり」

基本目標②に対する基本施策

「地域やふくしに関心をもつ機会づくり」

「ふくしの理解促進」

「活躍の場づくり」

基本目標③に対する基本施策

「多様な交流の機会づくり」

「全世代を対象とした生活支援の充実」

「地域づくりにつながる活動への支援」

ほっとけんの心をもって、個で気づき、ふくしの理解を深め、地域で活かしていくことが、ループ状につながっていることをイメージした。

役割・活躍部会での検討内容

住民にわかりやすく、参加しやすくという視点で話し合った。さらに、事務局提案の体系図を一から話し合うのではなく、ささえあい部会が検討した体系図を基に積み上げていく形を選択した。

基本理念『「あんき」に暮らせる東浦

～だれもが主役になれるまち～』

基本理念は、副題のだれでも主役になれるまちを「だれもが主役になれるまち」とし、やわらかい表現になるようにした。

基本目標①『「ほっとけん」気になる心でつながる』

基本目標②『「ささえあい」お互いさまがあたりまえ』

基本目標③『「やくわり」一人ひとりが持てる力を発揮する』

基本目標について、イメージしやすくするために、キーワー

ドをつけた。

基本目標①に対する基本施策は相談に関すること。

「相談支援体制の充実」

「ふくしの理解促進」

「気づきの機会づくり」

包括的支援体制の充実とは、0から100歳まで丸ごとの相談のことである。しかし、住民目線の言葉ではないため、「相談支援体制の充実」とした。地域づくりにつながる活動への支援をするよりも、まずはふくしに関する気づきや、関わるきっかけがあることが重要。そのため「気づきの機会づくり」とした。

基本目標②に対する基本施策は居場所づくりに関すること。

「活躍の場づくり」

「地域やふくしに関心をもつ機会づくり」

「多様な交流の機会づくり」

基本目標③に対する基本施策は防災に関すること。

「生活支援の充実」

「地域福祉視点での防災・減災のしくみづくり」

「日ごろの見守りのしくみづくり」

全世代を対象とした生活支援の充実について、生活に関することはすでに全世代を対象としているという意見があり、「生活支援の充実」とした。

ほっとけん部会での検討内容

役割・活躍部会の体系案を踏まえて、話し合いをする方法をとった。

基本理念『あんき』に暮らせるほどよいまち東浦』

基本理念について、誰もが主役になれるまちと表現すると、表舞台に出たくない人も、無理やり表に出すこともイメージできてしまうという意見がでた。人口規模であったり、サイズ感であったりほどよい東浦の特徴を基本理念にいれてはどうかという意見があった。

基本目標については、役割・活躍部会のまま。

基本目標①に対する基本施策

「断らない相談支援」

「ふくしの理解促進」

「気づきの機会づくり」

基本施策について、相談支援体制の充実について、体制の充実だと人を増やすイメージになってしまう。地域共生社会の中で断らないそう相談支援という言葉がでてきているので、そのまま採用した。

基本目標②、③に対する基本施策は役割・活躍部会のまま。

作業部会長会での検討内容

ほっとけん部会までの検討結果を踏まえて、作業部会長で最終的な体系案を決定した。

基本理念 『「あんき」に暮らせるまち ひがしうら』

ほどよいと基本理念につけると、何を対象としているのかわかりづらいため、上記のような表現にした。

基本目標① 『「ほっとけん」気になる心でつながる』

基本目標② 『「ささえあい」お互いさまがあたりまえ』

基本目標③ 『「やくわり」だれもが持てる力を発揮する』

一人ひとりが、という表現を「だれもが」とし表現をやわらかくした。

基本目標①に対する基本施策

「相談支援の充実」

「ふくしの理解促進」

「助けてと言える」

断らない、を目標に掲げてしまうとハードルが高いように感じるため、断らない相談を相談支援の充実とした。

気づきの機会づくりを助けてと言えるに変更した。支援を必要とする本人からの視点の目標をいれた。

基本目標②に対する基本施策

「活躍の場づくり」

「地域や福祉に関心をもつ機会づくり」

「多様な交流の機会づくり」

基本目標③に対する基本施策

「生活支援の充実」

「地域福祉視点での防災・減災のしくみづくり」

「日ごろの見守りのしくみづくり」

◇委員長

アドバイザーからのコメントを促す。

◇アドバイザー

委員のみなさんで検討した上で決めていただいたとても良い体系と感じる。

すこし詳しく見ていくと、基本施策で、ふくしの理解促進と地域やふくしに関心をもつ機会づくりについて違いが明確ではないように感じる。具体的なプロジェクトが出てくると内容が同じものになるのではないか。

基本施策「助けてと言える」については、支援を必要とする本人側からの視点であり、大切にすべき事項に思う。しかし、具体的なプロジェクト、事業を考えると何が出てくるのか、予想がしにくい。この後の作業部会で、アイデアを洗い出した上で、もう一度基本施策の表現を考えてみても良いかもしれない。

◇委員長

議題2について、事務局より説明を促す。

(2) 今後の作業部会の流れについて

◆事務局

本委員会の終了後、第2回作業部会を行う。基本施策に対する取り組みのアイデアを出し合う。

2月に第3回の作業部会を行う。取り組みアイデアを重点的に取り組むプロジェクトとして、具体的内容を検討していく。

3月に第4回の作業部会を行う。同じく重点的に取り組むプロジェクトの具体的内容を検討していく。

令和2年4月に第5回作業部会を行う。最終報告に向けての取りまとめを行う。

令和2年7月に予定している地域福祉推進委員会で最終報告の予定。そのため、部会によっては、作業部会の回数が異なるか

	<p>もしれない。</p> <p>◇委員長 全体を通して何か意見や質問は。</p> <p>◇委員 体系を決めたが、今後話し合っていくプロジェクトは誰が、いつまでに、どのように実行していくものになるのか。</p> <p>◆事務局 計画が令和3年度からになるので、実行のスタートは令和3年度から。プロジェクトの内容を今後の作業部会で決めていく。その中で、誰が、いつまでに、どのようにプロジェクトの実行に向け取り組んでいくのか検討していく。</p> <p>◇委員長 本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、事務局は引き継ぐ。</p> <p>◆事務局 閉会を宣言。</p>
備考	なし